

新発売

Santee  
CENTIPEDE



## 1. 品種特性

葉色が濃緑で、ほふく茎が多く、横に伸びる能力は強い品種です。

- 1) 葉色：従来品より濃緑
- 2) ほふく茎伸長程度：他品種よりほふく茎伸長量が多い
- 3) 草丈：横方向への伸長が旺盛で、従来品よりやや低い（矮性品種）
- 4) 雑草抑制：しっかり繁茂した場合は雑草抑制効果が期待できる

※ 種子生産地であるアメリカの庭園での利用の様子です

## 2. 適応地域と栽培方法

適応地域は、関東以西～西南暖地です。ただし、標高や栽培条件によって東北南部、北陸での利用も可能です。

センチピードグラスは発芽までに日数がかかり、ほふく茎が伸長を始めるまで生育がゆっくりしています。雑草が発生した場合は、センチピードグラスが陰にならない様にこまめに刈り払うことをおすすめします。

## 3. 播種量と利用用途について

標準播種量 10～15g/㎡

- 1) 芝生用：10～15g/㎡
- 2) 法面（緑化用）：7～12g/㎡
- 3) 水田畦畔・果樹園：7～12g/㎡



サンティが繁茂した時の様子

※ 栽培条件、急速に緑化を求める場合などは播種量を増量してください。

## 利用用途（イメージ）



水田畦畔での利用イメージ



果樹園の作業道での利用イメージ



緑地帯での利用イメージ

## 4. サンティを上手に定着させるポイント

1) 発芽を安定させるために、日平均気温が 20℃を超える様になってから播種することが大切です。コート種子ですので、コート内部にも水分が伝わる様に水分をしっかりと確保してください。条件が揃えば 10～14 日程度で発芽を開始します。

2) 播種床を作る上で、雑草がある場合は事前にグリホサート系の除草剤を利用し枯らしておくことが必要です。枯れ始めたら刈り払って地上部は除去します。表土が硬すぎますと発芽、根の伸長が妨げられてしまいます。表層 5～10 cm 程度は耕起し、手作業であればレーキなどを使って整地をして播種床を整えます。

3) 暖地型芝生は発芽まで日数がかかり初期生育はゆっくりしています。その間の土壌流亡を防止し、水分確保も必要です。播種・覆土後はしっかりと鎮圧をしてください。やわらかすぎると土壌が乾燥する場合があります。流亡防止・温度や水分保持も含め、被覆資材などの利用も効果的です。

4) 生育期間中に雑草が繁茂してくる場合があります。陰になりますとサンティの生育を阻害してしまいます。雑草を刈り払うなどの作業は必要です。特に播種初年目はサンティの株が大きく生長するかに影響します。初年目は特に注意して管理をお願いします。

5) 肥料要求量は低く、少ない肥料分でも生育できます。特に生育がバラついたり、生育が悪い部分には追肥などをご検討ください。

6) 傾斜地の播種については、播種溝を作りスジ状（階段状）に行うことをおすすめします。徐々にほふく茎が生長し裸地を覆っていきます。定着においては播種～ほふく茎の生長期まで雑草の刈り払いをする作業はサンティの定着には重要なポイントです。

7) ターフとしての仕上がりを求める場合は 25～30 mm の刈り高をキープしていただくことをおすすめします。生長が緩やかになる晩秋まで、雑草の刈り払い含め、定期的な管理をしてください。

\*\*\*\*\*



発売元

札幌市厚別区上野幌 1 条 5 丁目 1 番 8 号  
TEL.(011)891-5742 FAX.(011)891-5749